

刊夕 日六月六



発行所 新島新聞社
編集者 新島新聞社
印刷者 新島新聞社
電話 二五七
郵便 二五七
代金 二五七

新議員も發言して にぎやかな初町會

根本品蔵氏御商賣柄

米問題で町長へ一矢

平町初町會は昨報の如く午後一時半から第一校講堂で開會されたが初町會のこととして傍聴者頗る多く百餘名に達した先づ議長及び議長代理選舉の後、常設臨時委員推薦をなし議事に入つたが初町會第一聲は先づ吉田寅議員から擧げられ別項の如き平町歌制定の建議理由説明をなし異議なく採擇、引つゞき同氏から巨款土木事業の促進につき當局へ希望を述べ、次いで根本氏起つて政府拂下げ米の配給状態につき商賣柄舌鋒鋭く町當局を難詰し青沼町長との間に再三張り合ふ、續いて鈴木町長は調査會その他町會の議決を経ながら有名無實となつてゐるものに對し至極眞面目に町當局へ今後の活用方を希望する次に川崎、花澤、馬目雅氏等から前記の政府米拂下げ米につき各々論議があり初町會らしい賑やかさを見せた、最後に多田井氏からも同問題に關聯して總括的に町議としての職責を全ふすべきことを力説その他二三あつて午後三時閉會したが終始和氣あつた初町會であつた

各委員決定

五日の初町會に於て推薦決定された平町の各委員左の如し

- ▲臨時出納検査委員 小野伊佐治、吉田五平、吉田寅之輔、猪狩觀徳、關内正一
- ▲學務委員 鈴木光吉、佐々木龍若、萩原義雄、多田井笑次郎、坂本隆藏
- ▲土木委員 佐藤幸太郎、荒川淺次郎、吉村安治郎、會川延太郎、川崎文治、松崎長太郎、吉田金作
- ▲警備委員 萩原義雄、佐々木龍若、馬目武之助、馬目雅治
- ▲水道委員 根本品蔵、花澤久一郎、高橋龜松、石山治三郎、綠川喜三郎、小松茂、酒井清
- ▲傳染病豫防委員、新井滋造、吉田金作
- ▲第三小學校増築委員 松

平町歌制定の建議 昨日の町會に提案

吉田(寅)氏提案・採擇

五日の町會に於て吉田(寅)議員は野崎滿藏氏外二十三名賛成調印を以て平町歌制定の建議案を提案、萬場一致採擇となり作歌、作曲その他に就ては町當局に一任と決定した花の新川でない平小唄が近くもう一つ出来るといふわけである、尙同案建議の理由は

時の記念日

十日の第十四回時の記念日に

常識講座

異國情調とは英のエキゾチックの意味で空想的に異國をあこがれる心持を云ふものだが本邦では之を情の賣買行為にも轉用し君は何處へ行つたと云ふが異國情調はどうと云ふ

合流に異議はないが 同成會員は遠慮する

郡部同志に諮つて握手するまで

平町民政二町議の意向

石城郡民政部會に於ける萩原三氏何れも黨内相和するもの對野崎兩派間に久しく續いた反對ではなく唯石城郡部會新町議十一氏が融和提携され同成會なる名によつて共同戦線を張る等とは既報したが其後右同志の吉田寅之輔、吉村安治郎、荒川淺次郎三氏に脱退の噂があり折角の妥協が破れはせぬかと見られても其眞相を聞く所によればあるのみである

平第三校裏の道路 開設に反対はせず

潰地を買つて貰ひたい希望だけ

絶対寄附せぬとも云はぬ

平町が救済工事に計議した字新川町から鎌田町に至る第三小學校南裏の幹線道路は前年既に潰地の寄附を各地主から内諾されてゐた筈なので近く工事着手を豫定されてゐたが最近に至つて左記少數の地主側から所有地に道路を開設されることは反對でないが潰地の寄附は未だ承諾して居ない出来得るならば町に於て時價で買収して欲しいと云ふ底意を町當局に訴へた爲め町では豫算の上に大なる狂ひを生じ

元平署敷地跡 愈よ町へ拂下げ

きのふ知事から認可

平町紺屋町一八番の二地内元平署跡敷地はかねて平町から當局へ拂下げ方を申請中であつたが五日付赤木知事から正式認可の指令があつた

各候補選舉費用 六日まで届出の分

郡内道路調査

失職者より求 人の方が多い

岩手四號獎勵

米價は騰勢を 迎る

麥は平年作

平町職立候補者の選舉費用精算書六日までに平署に届け出た分は左の如くである

關内	一六二圓一五錢
綠川	五三圓八〇錢
井上	一三九圓六八錢
花澤	一一五圓
馬目武	一七一圓三二錢
馬目雅	一一四圓九〇錢
根本	五五圓七七錢
石山	一一五圓七二錢
吉田五	六八圓九五錢
齋藤角	一四四圓八錢

平町職業紹介所五月中の取扱成績は

求人男	八一	女	一五九
求職男	七〇	女	一〇八

前年同月に比較すれば求人に於ては三十三の増加であるが求職は僅か九の増加に過ぎず仕事を探す者より人を求める方が多いと云ふ嬉しい現象を呈してゐる、之は農繁期が

物に岩手四號を撰擇之を一般農家に獎勵することになつた

石城地方の麥作刈取りは十五日頃頃から始まるが今年には播種直後は嚴寒と土壤乾燥のため二割減收を豫想されたが其後天候順調であつたため最近では殆んど平年作同様の收穫は確實と見られてゐる

大浦農會共販成績
大浦農會倉庫五日の俵米共同販賣は出荷三百二十九俵、四等建値は八圓三十錢で取引された、前回二十五日に比し僅當り十九錢の高値である、之は主として中央相場の好況によるもので今後尙高値が續くものと立入筋は觀測してゐる

替る映 八日

▽平館日活現代劇 吉村康監督 瀧花久子、井染四郎
伏見信子主演【朝風の海は歌ふ】◎日活千恵子プロ 山上伊太郎原作脚色 マキノ正博監督 片岡千恵藏、山田五十鈴主演【白夜の變】◎松竹蒲田 野村芳亭監督 八雲美津子、岡譲二主演 柳橋藝妓特別總出演 サウンド版【新四谷怪談】
△世界館 東活時代劇 志葉西果監督 雲井龍之介
木下双葉主演【夜明けの女】
◎新興現代劇 合根純三監督 松本泰輔、茂田健二、高津慶子主演【姿なき怪盜】
後篇 ◎新興大田太郎プロ 押本七之助監督 尾上菊太郎、歌川絹枝主演【半次行狀記】

産業

副業の常識
東農大出身 鈴木技師

第九去勢及肥育
一、去勢
1 去勢の年令、鶏の個性によつて早く發育するものと發育の遅れるものとあるから同一ではないが概して二ヶ月を経過したものは最も都合がよい様である、
2 去勢の有利な時期、八月に孵化した鶏を十一月中に去勢して一月乃至二月に販賣することが最もよい此の時期に脂肪の蓄積が容易であるのみならず、肉の市價が最も騰貴する時期であるからである、三月より五月の間に孵化した鶏は去勢期又は肥育期に酷暑に會ふから肥らないのみならず却つて瘦せさす場合があるからこの時期は最も困難とせられてゐるのである
3 去勢と鶏種、肉用種や兼用種中の大形なものは去勢しなくてもよいが其の小形なものや卵用種の如きは去勢することによつて肥育をさせ且つ管理上飼料經濟上極めて有効である、
4 去勢器具、種々の種類があるけれども廉價で確實なものには小野式であるが然しこれは慣れた機械を使用するのが便利であるから必ずしも何式と限つたわけではない、單に五、六十羽の雄を行ふときは自分の手製で充分である、
5 去勢の準備、二、三十時間絶食させて置いたもの

を手術臺上に右側を上にして脚を充分に引張り而して手術中動かない様に臺上の釘に紐でくくり付ける、
6 去勢術、右側の下方肋骨部の毛をよく抜き最終の肋骨の上縁を脊の近くまで切開し開張器をかけて創を開き竹ペラで靜かに腹腔内の薄い膜を破れば脊に接近して黄白色の睾丸が見える

パソルと日傘
ヤルツ
〇四一話電四平

淋病最新薬
美神淋薬
一週分 四、五〇
二週分 八、〇〇
代理店 山邊邊藥局

徒弟さんを募
西洋家具製作徒弟 十名
西洋塗師 一名
椅子張師 一名
集いたします
資(イ) 本年尋常又は高等小學校卒業の者
格(ロ) 身体強健にして意志強固なる者
右希望者は自筆の履歴書に學校の成績表を添へて至急御申込みあれ
和洋家具製販賣 室内裝飾設計請負
諸官衙學校會社御用達
株式 丸はん商店
平町三丁目 電話三五九番
製作所
平町新田前 電話一八二番

雨露に晒す程 煙突は
朝日
石綿セメント製
絶対にくげない!!
経済的で
美觀の心配がない
金屋商店

寫眞は
是非當館へ
美術引伸、人像専門
齊藤寫眞館
平町大町 電話 呼六三七

入院應需
明雲堂眼科醫院
平驛前 電六六九番

素人にも譯なく塗れる!カセイソ
カベ塗料
（一坪分）單價二拾五錢
●すぐ乾き...手間とれず塗れて...それが絶對變色せぬのが特長、
●御婦人や子供にもたやすく塗ることが出来ます
●どんな色合でもございますから御見本御覽の上是非一度御使用して見て下さい、
特約販賣店 大谷建材商店
平町 紺屋町 電話三六六番

牛も豚も優良品の自慢
肉の御用命は 三三屋
平町 田町
ガソリン モビール油
日本株式会社 石油
特約販賣
油問屋 關内油店
支店 支那山平驛前 電話長八二三
支店 茨城縣關本驛前 電話長平湯七三
油槽出張所 郵便局前

内科 小兒科
外科 花柳病科
耳鼻喉科
レントゲン科
平町田町 電話五三三番
院長 醫學士 高久忠
高久病院

勉強振りを御覽下さいませ
新しいわき新聞社
☑ 一般印刷物も御引受致します ☑



食堂の一部
ランチ四品付 五十錢 定食五品付 壹圓
支那料理 ボタン
電話 五七六番

サロンは御家庭の延長
御料理本位のサロン
これからの御飲物
フルウツ ボンチ 二十五錢
コール コーヒー 十五錢
一度當店のものを御試飲を
乞ひます
佛蘭西料理 平町田町 電話三五二
スペインG・H・N元話
ゴルフポートワイン
甘味葡萄酒 1・10
御婦人の方には少し水を加へて召し上ると風味一そう佳良です
(平) 西村屋藥舗 (電3)